

# 比較文化学科カリキュラム・ツリー①——表象・文化交流

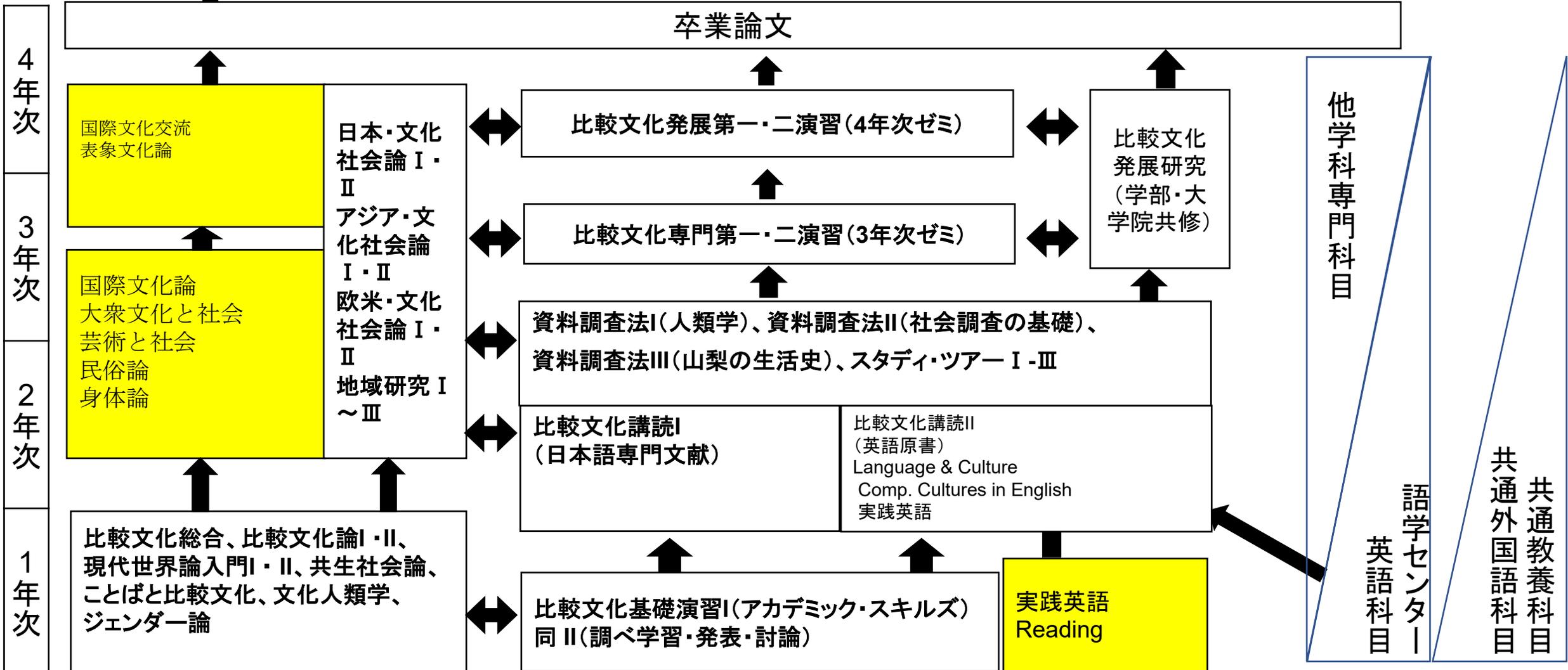
DP1: 現代世界が抱える諸課題についての知識を修得し、また比較文化研究ならびにエリア・スタディーズ(地域研究)に裏づけられた観察力と複眼的な思考力を有している。

DP2: 日本ならびに世界各地の企業、自治体、NGO/NPO等において多文化間の協働関係を担う資質を身につけている。

DP3: 情報を取捨選択する能力だけでなく、国際社会や地域社会での共生を図るうえで基礎となる資料を自分で調べる方法を身につけている。

DP4: 英語をはじめとした外国語を用いて、様々な場面において適切なコミュニケーションをはかる能力を持っている。

DP5: 現代世界における文化衝突を生みだす社会的・歴史的背景を俯瞰し、その解決に向けた方法を研究ないしは生涯にわたる学習を通して探求しつづける態度が形成され



# 比較文化学科カリキュラム・ツリー②—コロニアリズムと人文学

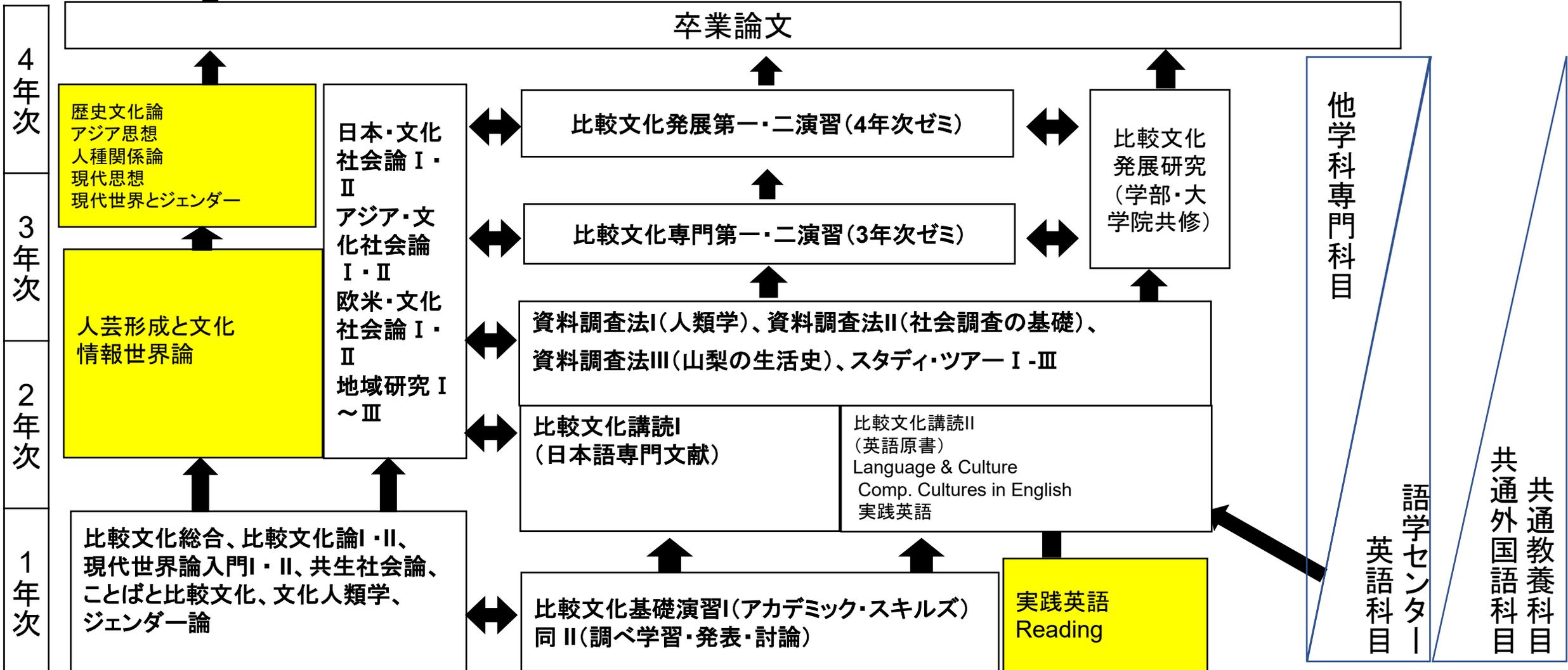
DP1: 現代世界が抱える諸課題についての知識を修得し、また比較文化研究ならびにエリア・スタディーズ(地域研究)に裏づけられた観察力と複眼的な思考力を有している。

DP2: 日本ならびに世界各地の企業、自治体、NGO/NPO等において多文化間の協働関係を担う資質を身につけている。

DP3: 情報を取捨選択する能力だけでなく、国際社会や地域社会での共生を図るうえで基礎となる資料を自分で調べる方法を身につけている。

DP4: 英語をはじめとした外国語を用いて、様々な場面において適切なコミュニケーションをはかる能力を持っている。

DP5: 現代世界における文化衝突を生みだす社会的・歴史的背景を俯瞰し、その解決に向けた方法を研究ないしは生涯にわたる学習を通して探求しつづける態度が形成され



# 比較文化学学科カリキュラム・ツリー③——平和・国際

DP1: 現代世界が抱える諸課題についての知識を修得し、また比較文化研究ならびにエリア・スタディーズ(地域研究)に裏づけられた観察力と複眼的な思考力を有している。

DP2: 日本ならびに世界各地の企業、自治体、NGO/NPO等において多文化間の協働関係を担う資質を身につけている。

DP3: 情報を取捨選択する能力だけでなく、国際社会や地域社会での共生を図るうえで基礎となる資料を自分で調べる方法を身につけている。

DP4: 英語をはじめとした外国語を用いて、様々な場面において適切なコミュニケーションをはかる能力を持っている。

DP5: 現代世界における文化衝突を生みだす社会的・歴史的背景を俯瞰し、その解決に向けた方法を研究ないしは生涯にわたる学習を通して探求しつづける態度が形成され

4年次

3年次

2年次

1年次

卒業論文

平和創出と市民  
国際社会と法  
人の国際移動論  
環境開発教育論  
紛争と人権

日本・文化  
社会論Ⅲ～  
Ⅵ  
アジア・文  
化社会論Ⅲ  
～Ⅵ  
欧米・文化  
社会論Ⅲ～  
Ⅵ  
地域研究Ⅰ  
～Ⅲ

比較文化発展第一・二演習(4年次ゼミ)

比較文化  
発展研究  
(学部・大  
学院共修)

戦争・平和論  
国際関係法  
国際関係論  
国際政治経済論  
人権論

比較文化専門第一・二演習(3年次ゼミ)

資料調査法Ⅰ(人類学)、資料調査法Ⅱ(社会調査の基礎)、  
資料調査法Ⅲ(山梨の生活史)、スタディ・ツアーⅠ-Ⅲ

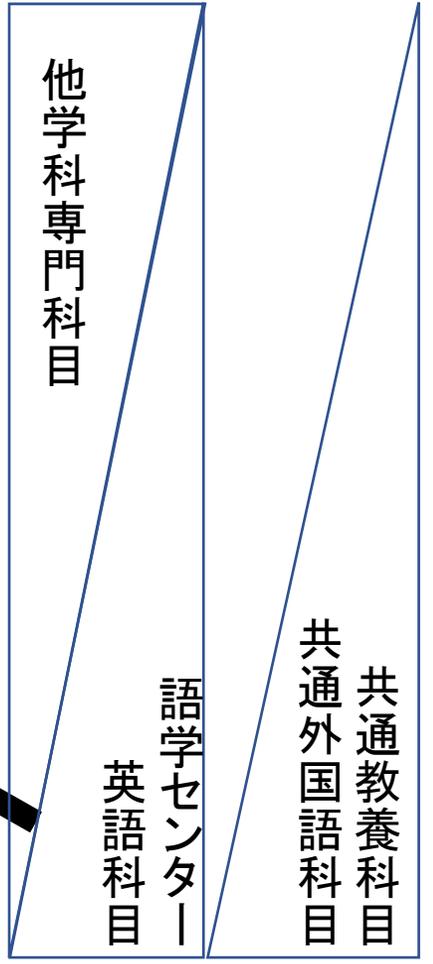
比較文化講読Ⅰ  
(日本語専門文献)

比較文化講読Ⅱ  
(英語原書)  
Language & Culture  
Comp. Cultures in English  
実践英語

比較文化総合、比較文化論Ⅰ・Ⅱ、  
現代世界論入門Ⅰ・Ⅱ、共生社会論、  
ことばと比較文化、文化人類学、  
ジェンダー論

比較文化基礎演習Ⅰ(アカデミック・スキルズ)  
同Ⅱ(調べ学習・発表・討論)

実践英語  
Reading



# 比較文化学科カリキュラム・ツリー④——開発・人の移動

DP1: 現代世界が抱える諸課題についての知識を修得し、また比較文化研究ならびにエリア・スタディーズ(地域研究)に裏づけられた観察力と複眼的な思考力を有している。

DP2: 日本ならびに世界各地の企業、自治体、NGO/NPO等において多文化間の協働関係を担う資質を身につけている。

DP3: 情報を取捨選択する能力だけでなく、国際社会や地域社会での共生を図るうえで基礎となる資料を自分で調べる方法を身につけている。

DP4: 英語をはじめとした外国語を用いて、様々な場面において適切なコミュニケーションをはかる能力を持っている。

DP5: 現代世界における文化衝突を生みだす社会的・歴史的背景を俯瞰し、その解決に向けた方法を研究ないしは生涯にわたる学習を通して探求しつづける態度が形成される。

